

中級から上級へ

留学生のための日本語文法

Japanese Grammar for Intermediate Learners

かいとう かいせつ
解答と解説

第1章 日本語の基本構造

<やってみよう1>①動詞文、②形容詞文、③名詞文

(例) (③名詞文) 祖父が病気だ。

「病気」は名詞です。

(1) (③名詞文) あの人がインド人だ。

「インド人」は名詞です。

(2) (②形容詞文) 故郷がとてもなつかしい。

「なつかしい」はイ形容詞です。「なつかしい故郷」と言えます。

(3) (②形容詞文) 大学の階段が急だ。

「急だ」はナ形容詞です。「急な階段」と言えます。

(4) (②形容詞文) スマホの使い方が複雑だ。

「複雑だ」はナ形容詞です。「複雑な使い方」と言えます。

(5) (①動詞文) 机の上にファイルがある。

「ある」は存在を表す動詞です。

(6) (①動詞文) 学生が授業中に寝る。

「寝る」は動詞です。

<やってみよう2>

(例) (あの人) たぶん (田中さん)だ。

「田中さんだ」が名詞述語で、その主語である「あの人」が重要な成分です。「たぶん (副詞)」は重要ではない成分です。

(1) (風) とても (冷たい)。

「冷たい」がイ形容詞述語で、その主語である「風」が重要な成分です。「とても (副詞)」は重要ではない成分です。

(2) (三郎) 昨日 学校で (友達と) (けんかした)。

「けんかした」が動詞述語で、その主語である「太郎」と対する相手である「友達と」が重要な成分です。「昨日」と「学校で」は重要ではない成分です。

(3) **太郎が** 以前から **花子が** **好きだ。**

「好きだ」がナ形容詞述語で、主語である「太郎が」と「好きだ」の対象である「花子が」が重要な成分です。「以前から」は重要ではない成分です。

(4) **祖母が** 祖父と 毎日 **公園を** **散歩する。**

「散歩する」が動詞述語で、主語である「祖母が」と通過点である「公園」が重要な成分です。「祖父と」と「毎日」は重要ではない成分です。

(5) **母親が** **教育は** とても **熱心だ。**

「熱心だ」がナ形容詞述語で、その主語である「母親が」と心的対象である「教育に」が重要な成分です。「とても (副詞)」は重要ではない成分です。

(6) **トムが** 毎週 **花子に** **英語を** **教える。**

「教える」が動詞述語で、主語である「トムが」と相手である「花子に」と対象である「英語を」が重要な成分です。「毎週」は重要ではない成分です。

<やってみよう3>

(例1) ～が ～に 電話する

「電話する」という動作には必ず相手が必要です。主語「～が」と相手「～に」で表されます。相手も一緒に動作をするという感覚では「～と」も可能になります。「恵子が友達に／と電話する」など。

(例2) ～が ～に ～を 頼む

「頼む」という動作は主語「～が」とともに頼む相手「～に」とその対象「～を」が必要です。「母が息子に留守番を頼んだ」など。

(1)～が～とデートする

「デートする」という動作には必ず相手が必要です。主語「～が」とデートする相手「～と」で表されます。「太郎が花子とデートする」など。

(2)～が遊ぶ

「遊ぶ」は単純な動作なので、主語「～が」だけで表されます。その他に重要な

成分はありません。「子供が遊ぶ」など。

(3)～が～に～を売る／～が～を～に売る

「売る」という動作には、主語「～が」のほかに、売る相手（「～に」とその対象（「～を）」が必要で、「店員が客に商品を売る」など。「～に」と「～が」の順番はどちらでもかまいません。「店員が商品を客に売る」など。会話などでは売る相手を省略して、「車を売った」とか「家を売った」などと言うことがあります。

(4)～が～に勤める

「勤める」という動作には主語「～が」と勤める地点「～に」が必要です。「友達がホテルに勤める」など。なお、全体の場所は「～で」で表されます。「友達が北海道でホテルに勤める」など。（→本冊 p. 19）

(5)～が～を散歩する

「散歩する」という動作には、主語「～が」と散歩する通過点「～を」が必要です。「父が公園を散歩する」など。なお、全体の場所は「～で」で表されます。「父が東京で公園を散歩する」など。（→本冊 p. 19）

(6)～が～と結婚する

「結婚する」という動作には、主語「～が」と結婚する相手「～と」が必要です。「太郎が花子と結婚する」など。

(7)～が曲がる

「曲がる」は単純な変化なので、主語「～が」だけで表されます。、その他に重要な成分はありません。「スプーンが曲がる」など。

(8)～に～がわかる

「わかる」は、3つしかない自発の動詞の1つです。「～に～が動詞」の文型になります。「中国人に漢字がわかる」など。自発の動詞では、「～が～が動詞」の文型も可能です。「中国人が漢字がわかる」など。

(9)～が～を作る

「作る」という動作には主語「～が」と対象（目的語）「～を」が必要です。一番多い文型です。「母がおにぎりを作る」など。

(10)～が～に集合する

「集合する」という動作には、主語「～が」と集合する着点「～に」が必要です。「友達が改札口に集合する」など。なお、全体の場所は「～で」で表されます。

「友達が東京駅で改札口に集合する」など。（→本冊 p. 19）

(11)～に～が読める

「読める」という可能の表現は、「～に～が動詞」で表されます。「トムに漢字が読める」など。なお、可能の表現は、「～が～が動詞」にもなります。「トムが漢字が読める」など。また、可能形では、「～が～を動詞」で表すこともできます。「トムが漢字を読める」など。

(12)～が～と対立する

「対立する」という動作には、主語「～が」と対立する相手「と」が必要です。アメリカが中国と対立する」など。

(13)～が～にあこがれる

「あこがれる」という動作には、主語「～が」とあこがれる対象「～に」が必要です。「花子がパリにあこがれる」など。

(14)～が働く

「働く」は単純な動作なので、主語「～が」だけで表されます。その他に重要な成分はありません。「母親が働く」など。場所は重要ではない成分になります。

(15)～が～を～に置く

「置く」という動作には、主語「～が」と対象（「～を」とそれを置く着点である（「～に」）が必要です。「太郎がペットボトルを机に置く」など。「～を」と「～に」の順番はどちらでもかまいません。「太郎が机にペットボトルを置く」など。

(16)～が～に～をもらう

「もらう」という動作は、主語「～が」ともに、相手「～に」と対象「～を」が必要です。「花子が太郎に花をもらう」など。「～に」と「～が」の順番はどちらでもかまいません。「花子が花を太郎にもらう」など。また、動作が主語に向かうため、対象を「～から」で表すことができます。「花子が太郎から花をもらう」など。

(17)～が～を離れる

「離れる」という動作には、主語「～が」と離れる起点「を」が必要です。「友達が東京を離れる」など。「～を」は「～から」でも言うことができます。「友達が東京から離れる」など。

(18)～に～が聞こえる

「聞こえる」は、3つある自発の動詞の一つです。したがって、「～に～が動詞」で表されます。「私に雨音が聞こえる」など。なお、自発動詞では、主語を「～が」にすることができます。「私が雨音が聞こえる」など。ただし、会話では主語が省略され、「雨音が聞こえる」となります。

(19)～が～と議論する

議論するためには必ず相手が必要となります。「上司が部下と議論する」など。

(20)～が～を消す

「～消す」の動作では、消される対象（目的語）が必要となります。一番多い文型です。「先生が電気を消す」など。

<やってみよう4>

(例1) ～が華やかだ

ナ形容詞述語です。主語が「～が」で表されます。その他に重要な成分はありません。「祭が華やかだ」など。

(例2) ～が～が憎い

感情・感覚を表す形容詞なので、「～が～が形容詞」になります。「私が犯人が憎い」など。感情・感覚の形容詞の主語は通常「私」なので、会話では省略されます。

(1)～が～が上手だ

技能を表す形容詞なので、「～が～が形容詞」になります。「花子が絵が上手だ」など。

(2)～が市役所だ

名詞述語です。主語が「～が」で表されます。その他に重要な成分はありません。「あの白い建物が市役所だ」など。

(3)～が～がなつかしい

感情・感覚を表す形容詞なので、「～が～が形容詞」になります。「私が子供時代がなつかしい」など。感情・感覚の形容詞の主語は通常「私」なので、会話では省略されます。

(4)～が～が嫌だ

感情・感覚を表す形容詞なので、「～が～が形容詞」になります。「私が勉強が嫌だ」など。感情・感覚の形容詞の主語は通常「私」なので、会話では省略されます。

(5)～が～に厳しい

I形容詞述語です。主語が「～が」で、厳しく接する対象が「～に」で表されます。「先生が生徒に厳しい」など。

(6)～が暗い

イ形容詞述語です。主語が「～が」で表されます。その他に重要な成分はありません。「部屋が暗い」など。

(7)～が～に親切だ

ナ形容詞述語です。主語が「～が」で、親切にする対象が「～に」で表されます。「日本人が外国人に親切だ」など。

(8)～が～に弱い

イ形容詞述語です。主語が「～が」で、弱いと感じる対象が「～に」で表されます。「女性が甘いものに弱い」など。女性の一般的な性格を表す時は、「女性が弱い」という「～が形容詞」になります。

(9)～が友達だ

名詞述語です。主語が「～が」で表されます。その他に重要な成分はありません。「アンナが友達だ」など。

(10)～が新しい

イ形容詞述語です。主語が「～が」で表されます。その他に重要な成分はありません。「パソコンが新しい」など。

(11)～が美人だ

名詞述語です。主語が「～が」で表されます。その他に重要な成分はありません。「マリアが美人だ」など。

(12)～がまじめだ

ナ形容詞述語です。主語が「～が」で表されます。その他に重要な成分はありません。「花子がまじめだ」など。

日本語の文型一覧（用例）

(1)～が動詞

単純な動作：赤ちゃんが起きる／子どもが泣く／娘が眠る／父親が笑う／小学生が遊ぶ／学生が騒ぐ／母親が働く
単純な変化：パソコンが壊れる／ランプが光る／皿が割れる／川が流れる／花が咲く／針金が曲がる／虫が死ぬ

(2)～が～を動詞（主語は省略）

対象：パンを食べる／水を飲む／テレビを見る／字を書く／本を読む／電気を消す
／服を着る／紙を切る／ボタンを押す

通過点：近所を散歩する／道を通る／（電車が）駅を通過する／空を飛ぶ／運動場を走る／山を歩く／橋を渡る

起点（＝「～から」）：家を出る／東京を出発する／日本を離れる／（ジェット機が）空港を飛び立つ／（飛行機が）空港を離陸する

(3)～が～に動詞（主語は省略）

対象：その意見に反対する／その提案に賛成する／テストに合格する／先生に質問する／試合に勝つ／試合に負ける

心的対象：間違いに気づく／クモに驚く／地震にびっくりする／アメリカにあこがれる／子どもに期待する／親切に感心する／生活に満足する／借金に苦しむ／資金集めに苦勞する／お金に困る／勉強に疲れる／人間関係に悩む／ゲームに飽きる

相手：友達に電話する／妹に会う／先生に相談する／恋人にキスする

（「～と」も可能。その場合、両者が一緒に動作を行うという意味になる。）

地点：静岡に住む／ホテルに泊まる／旅館に滞在する／銀行に勤める／会社に就職する

着点：学校に集まる／駅前集合する／大学に着く／（荷物）家に届く／（汚れ）が服に付く／部屋に入る／椅子にすわる／電車に乗る

方向（＝「～へ」）：学校に行く／駅に向かう／イギリスに留学する

(4)～に～が動詞

存在の地点：部屋にテレビがある／庭に犬がいる／この世に神が存在する

知覚の動詞（「～に」＝「～が」）：私に（が）富士山が見える／私に（が）子供の声が聞こえる／私に（が）答えがわかる

可能の動詞（「～に」＝「～が」）：彼に（が）倒立ができる／トムに漢字が読める／アンナに納豆が食べられる（可能形は「～が～を可能形」でも表される。→ トムが漢字を読める／アンナが納豆を食べられる。）

(5)～が～と動詞（主語は省略）

対する相手：親とけんかする／恋人と別れる／同僚と結婚する／友達と競争する／アメリカと戦う／彼氏とデートする／先生と対立する／夫と離婚する／友人と議論する／弟と争う／母親と言い争う

(6)～が～に～を動詞／～が～を～に動詞（主語は省略）

相手＋対象：子どもに数学を教える／花子に友人を紹介する／犬にエサを与える／
友達に宿題を渡す／客に商品を売る／友人にパソコンを貸す／警察に免許書を見せる

相手（＝「～から」）＋対象：トムに英語を教わる／親に小遣いをもらう／友達に自転車を借りる

対象＋着点：ゴミをゴミ箱に捨てる／ボールを友達に投げる／本を机に置く／
荷物を家に送る／ボールペンを床に落とす／バッジを服に付ける

(7)～が形容詞

物事の性質：夕焼けが美しい／その意見が正しい／壁が白い／部屋が暗い／教室が
明るい／試験が難しい／荷物が大きい、テストが簡単だ／構造が複雑だ／花束が
きれいだ／子どもが元気だ／祖母が健康だ／次郎がハンサムだ

(8)～が～が形容詞（主語「私」は省略）

感情・感覚の形容詞：娘の結婚がうれしい／ペットの死が悲しい／犯人が憎い／の
どが痛い／へビが怖い／背中がかゆい／お金がほしい／故郷がなつかしい／息が
苦しい／太郎が好きだ／医者が嫌いだ／勉強が嫌だ／テストの結果が心配だ／
健康が不安だ

技能の形容詞：花子が絵がうまい／太郎が字が下手だ／由美がテニスが上手だ／弟
が数学が得意だ／三郎が語学が苦手だ

(9)～が～に形容詞

述語の対象：先生が学生に厳しい／父親が娘に優しい／太郎が試合に強い／次郎が
酒に弱い／夏子さんが家の嫁にふさわしい／次郎が機械に詳しい／花子がアイド
ルに夢中だ／生徒が勉強に熱心だ／日本人が外国人に親切だ／学生がボランティ
ア活動に消極的だ／若者が環境運動に積極的だ／父親が子どもに無関心だ／
妻が夫に不満だ

述語の範囲：山が日本に多い／雨がサウジアラビアに少ない／医者が地方に足りない
／医療品がアフリカに必要だ／教育が国の発展に不可欠だ／スマホが社会人に
便利だ

(10)～が名詞＋だ

物事の性質：あの人が学生だ／さゆりが独身だ／父親が弁護士だ／あそこが公園だ／
有名な観光地が京都だ／花子が美人だ

＜練習しよう＞の解答

* 「～に～が動詞」以外の主語「～が」は省略します。

(例)		～に ～を 紹介する		～に 合格する	
～に勤める	～を書く	～に～が開こえる	～を～に投げる	明るい	～に賛成する
～が嫌だ	～に強い	～が騒ぐ	～に滞在する	～と離婚する	簡単だ
～に必要だ	～に失礼だ	～に飽きる	～が痛い	きれいだ	～にあこがれる
～に質問する	～に反対する	～を～にもらう	公園だ	～が下手だ	～に集まる
～を～に貸す	～が得意だ	死ぬ	～に感心する	～を消す	曲がる
泣く	～を～に付ける	～を飲む	～が苦手だ	働く	～に無関心だ
～に苦労する	～が暗い	～と議論する	～が憎い	～に悩む	～に足りない
～に厳しい	～が京都だ	～が好きだ	～を出發する	～に留学する	～に少ない
～が難しい	～と対立する	～と相談する	～に付く	～が咲く	～を着る
～に～がある	～に積極的だ	～がほしい	～にすわる	～と言い争う	～が大きい
～と争う	～に就職する	～を～に置く	～に困る	～を通過する	～を渡る
～にびっくりする	～に～が読める	～が割れる	～が起きる	～を～に教わる	～に着く
～に～を与える	～に満足する	～が美人だ	～に～がわかる	～が不安だ	～に親切だ
～が白い	～が壊れる	～と結婚する	～が複雑だ	～とけんかする	～を～に送る
～に入る	～に期待する	～を歩く	～が弁護士だ	～に～が食べられる	～を通る
～が正しい	～に多い	～が流れる	～が上手い	～とキスする	～を切る
～が嫌いだ	～を食べる	～と競争する	～に弱い	～を～に売る	～に会う
ハンサムだ	～を読む	～に～を紹介する	～に気づく	～が美しい	～に不満だ
～がうれしい	～に不可欠だ	～に届く	～に～が存在する	～に負ける	～を出す
～を飛び立つ	～を飛ぶ	～にかつ	～にふさわしい	～に夢中だ	～に行く
～に集合する	～を見る	～に合格する	～を落とす	～を散歩する	～が怖い
～を～に渡す	～を離陸する	～がなつかしい	～に乗る	～が元気だ	～に住む
～が心配だ	～に驚く	～が上手だ	～に苦しむ	～に消極的だ	～に疲れる
～に詳しい	～に泊まる	～が遊ぶ	～に向かう	～に～がいる	～に～が見える
～に～を借りる	～とデートする	～に～を教える	～を離れる	～に～を見せる	～が健康だ
～が笑う	～に～ができる	～が学生だ	～と別れる	～を走る	～が悲しい
～を～に捨てる	～に電話する	～を押す	～が眠る	～がかゆい	～に便利だ
～に熱心だ	～が苦しい	～が光る	～に優しい	～と戦う	

<やってみよう5>

(例) 太郎が毎日 (φ) 図書館で本を読んでいる。

「毎日」は繰り返しの時の名詞なので、「～に」が付きません。

(1) 会議が朝10時 (に) 始まる。

「朝10時」は絶対的な基準による時の名詞なので、「～に」が付きます。

(2) 毎年 (φ) この場所でお祭りがある。

「毎年」は繰り返しの時の名詞なので、「～に」が付きません。

(3) 第2次世界大戦が1939年9月1日 (に) ヨーロッパで始まった。

「1939年9月1日」は絶対的な基準による時の名詞なので、「～に」が付きます。

(4) 妹が10年間 (φ) ピアノを習っていた。

10年間は「期間」なので、「～に」が付きません。

(5) 江戸時代 (に) 東京が首都になった。

江戸時代は絶対的な基準による時の名詞なので、「～に」が付きます。

(6) 田中さんが去年 (φ) 韓国に行った。

「去年」は相対的な基準による時の名詞なので、「～に」が付きません。

<やってみよう6>

(例) 夏子がモンゴルで民家に滞在した。

民家に滞在した場所が「モンゴル」です。「民家」は文型「～が～に滞在する」によって「～に」が付いているのに注意してください。

(1) ((2)手段・方法) 智子が自転車で学校へ通っている。

学校へ通うための「手段・方法」が「自転車」です。

(2) ((2)手段・方法) マリアがスマホで富士山の写真を撮った。

富士山の写真を撮るための「手段・方法」が「スマホ」です。

(3) ((1)場所) ジェフがアメリカで銀行に就職した。

銀行に就職した「場所」が「アメリカ」です。「銀行」は文型「～が～に就職する」によって「～に」が付いているのに注意してください。

(4) ((3)原因・理由) 雨で遠足が中止になった。

遠足が中止になった「原因・理由」が「雨」です。

(5) ((3)原因・理由) 毎年多くの人がガンで亡くなっている。

多くのおおひとが亡くなっている「原因・理由」が「ガン」です。

<やってみよう7>

(例) 母親が時々(φ)車(で)ドライブする。

「時々」は繰り返しの時の名詞なので「～に」が付きません。「車」はドライブする手段・方法なので「～で」が付きます。

(1) 日曜日(に)愛子がサラ(と)東京に行く。

日曜日は絶対的な基準による時の名詞なので「～に」が付きます。「サラ」は東京と一緒に行く相手なので「～と」が付きます。

(2) ジムが東京(から)北海道まで自転車(で)旅行した。

旅行の始まりが「東京」なので、「～から」が付きます。「自転車」は旅行のための「手段・方法」なので「～で」が付きます。

(3) 次郎が大阪(で)カプセルホテルに泊まった。

カプセルホテルに泊まった場所が「大阪」なので、「～で」が付きます。「カプセルホテル」は文型「～に泊まる」によって「～に」が付いているので注意してください。

(4) 家の中(より)外のほうが涼しい。

「家」は「外」の比較の対象なので、「～より」が付きます。

(5) 花子が夜6時(から)深夜(まで)居酒屋(で)バイトしている。

居酒屋の始まり「夜6時」と終わり「深夜」なので、「～から」と「～まで」が付きます。「居酒屋」はバイトする場所なので「～で」が付きます。

(6) 由美が試験勉強(で)昨日の夜(から)寝ていない。

「試験勉強」は寝ていない理由なので、「原因・理由」の「～で」が付きます。「昨日の夜」は「寝ていない」という「動作の始まり」なので、「～から」が付きます。

(7) 弟が兄(より)ハンサムだ。

「弟」と比較する対象が「兄」なので、「～より」が付きます。

(8) 和也が毎日(φ)エレン(と)図書館(で)英語を勉強する。

「毎日」は繰り返しの時なので、ゼロ(φ)になります。「エレン」は一緒に勉強する相手なので、「～と」が付きます。「図書館」は英語を勉強する場所なので、「～で」が付きます。

(9) 2011年(に)津波(で)多くの家が流された。

「2011年」は絶対的な基準の時の名詞なので、「に」が付きます。「津波」は家が流さ

れた原因なので、「原因・理由」の「～で」が付きます。

(10)新幹線「のぞみ」が朝9時（に）東京駅を出発した。

「朝9時」は絶対的な基準による時の名詞なので、「～に」が付きます。

第1章のまとめ

<問題1>

(1)見せる ((6)～が～に～を動詞/～が～を～に動詞) 「父**が**母に**写真**を**見せる**」など。

(2)気づく ((3)～が～に動詞) 「先生**が**漢字の間違いに**気づく**」など。

(3)悲しい ((8)～が～が形容詞) 「私**が**ペットの死**が**悲しい」など。会話では「私**が**」は省略されます。

(4)成長する ((1)～が動詞) 「子供**が**成長**する**」など。

(5)外国人だ ((10)～が動詞) 「あの人**が**外国人**だ**」など。

(6)買う ((2)～が～を動詞) 「花子**が**服を**買う**」など。

(7)暗い ((7)～が形容詞) 「教室**が**暗い」など。

(8)争う ((5)～が～と動詞) 「インド**が**パキスタンと**争う**」など。

(9)送る ((6)～が～を～に動詞/～が～に～を動詞) 「母**が**娘に荷物**を送る**」など。

(10)便利だ ((9)～が～に形容詞) 「コンビニ**が**買物に**便利だ**」など。

(11)狭い ((7)～が形容詞) 「部屋**が**狭い」など。

(12)わかる ((4)～に～が動詞) 「太郎**に**(=が)韓国語**が**わかる」など。

(13)不安だ ((8)～が～が形容詞) 「私**が**将来**が**不安**だ**」など。会話では「私**が**」は省略されます。

(14)降る ((1)～が動詞) 「雨**が**降る」など。

(15)話せる ((4)～に～が動詞) 「太郎**に**英語**が**話せる」など。可能形は「太郎**が**英語**が**話せる」や「太郎**が**英語**を**話せる」とも言うことができる。

(16)教師だ ((10)～が名詞述語) 「母**が**教師**だ**」など。

(17)少ない ((9)～が～に形容詞) 「石油**が**日本に**少ない**」など。

(18)苦しむ ((3)～が～に動詞) 「父**が**借金に**苦しむ**」など。

(19)渡る ((2)～が～を動詞) 「太郎**が**橋を**渡る**」など。

(20)離婚する ((5)～が～と動詞) 「恵子**が**英樹と**離婚する**」など。

<問題2>

(例) 三郎が アメリカで ホテルに 泊まった。

「～が～に泊まる」という文型です。「アメリカで」は重要ではない成分です。

(1) 子供が 外で 友達と 騒ぐ。

「～が遊ぶ」という文型です。「外で」と「友達と」は重要ではない成分です。

(2) 荷物が 昨夜 家に 届いた。

「～が～に届く」という文型です。「昨夜」は重要ではない成分です。

(3) 花子が ピアノが 上手だ。

「～が～が上手だ」という技能を表す文型です。

(4) トムが 今 カラオケに 夢中だ。

「～が～に夢中だ」という文型です。「今」は重要ではない成分です。

(5) 天気が 昨日から 今日まで 悪い。

「～が悪い」という文型です。「昨日から」と「今日まで」は重要ではない成分です。

(6) アンナが 日本で 恋愛に 悩んでいる。

「～が～に悩む」という文型です。「日本で」は重要ではない成分です。

1. 確認クイズ (10分)

【問題1】

(1) 貸す (⑤～が～に～を動詞) 「太郎が次郎にパソコンを貸す」など。

(2) 疲れる (③～が～に動詞) 「花子が勉強に疲れる」など。

(3) 通る (②～が～を動詞) 「学生が商店街を通る」など。

(4) 捨てる (⑤～が～に～を動詞) 「太郎がゴミ箱に紙クズを捨てる」など。

(5) できる (④～に～が動詞) 「彼に(=が) テニスが出来る」など。「彼がテニスが出来る」とも言える。

- (6)満足する (③～が～に動詞) 「上司が部下の**仕事に満足する**」など。
- (7)切る (②～が～を動詞) 「娘が**髪を切った**」など。
- (8)作れる (④～に～が動詞) 「アランに(=が)味噌汁**が作れる**」など。可能形は「アラン**が味噌汁を作れる**」とも言うことができる。
- (9)遊ぶ (①～が動詞) 「子供が**遊ぶ**」など。
- (10)起きる (①～が動詞) 「赤ちゃん**が起きる**」など。

【問題2】

- (1)嫌いだ (②～が～が形容詞) 感情を表す形容詞で「**私がヘビが嫌いだ**」など。会話では「**私が**」は省略されます。
- (2)正しい (①～が形容詞) 「君の**意見が正しい**」など。
- (3)美人だ (④～が名詞述語) 「先生**が美人だ**」など。
- (4)足りない (③～が～に形容詞) 「人材**が会社に足りない**」など。
- (5)積極的だ (③～が～に形容詞) 「**彼がボランティア活動に積極的だ**」など。
- (6)詳しい (③～が～に形容詞) 「**ジムがコンピューターに詳しい**」など。
- (7)複雑だ (①～が形容詞) 「その**問題が複雑だ**」など。
- (8)憎い (②～が～が形容詞) 感情を表す形容詞で、「**私が犯人が憎い**」など。会話では「**私が**」は省略されます。
- (9)必要だ (③～が～に形容詞) 「**愛情が子供に必要な**」など。
- (10)独身だ (④～が名詞述語) 「**山田が独身だ**」など。

【問題3】

- (1)トムがコンピューターゲーム (に) 夢中だ。
「～が～に**夢中だ**」という文型です。
- (2)三郎が**数学 (が) 苦手**であることを知っているか?
「～が～が**苦手だ**」という文型です。感情や感覚を表す形容詞です。
- (3)日本人 (より) ブラジル人のほうが、**陽気だ**。
「日本人」はブラジル人の比較の対象なので、「～より」が付きます。文型は「～が**陽気だ**」です。
- (4)そのデパートが朝10時から夜8時 (まで) **営業**している。
「夜8時」は営業の終わりなので、「～まで」が付きます。文型は「～が**営業する**」です。

(5)父親が3年間(φ)車で私を学校に送ってくれた。

「3年間」は期間なので「に」が付きません。文型は「～が～を～に送る」です。

(6)子供が公園で犬(と)遊んでいる。

「犬」は一緒に相手を表すので、「～と」が付きます。文型は「～が遊ぶ」です。

(7)由美の頭の良さ(に)感心する。

文型は「～が～に感心する」です。感心する対象(「頭の良さ」)に「～に」が付きます。

(8)太郎が飛行機(で)沖縄に行った。

「飛行機」は沖縄に行くための「手段・方法」なので、「～で」が付きます。文型は「～が～に(～)行く」です。

(9)ビル(に/が)日本語の新聞が読めるとは思わない。

文型は「～に～が読める」です。可能の動詞なので、主語は「が」でも表されます。

(10)ジェフがカナダ(から)日本に来た。

「カナダ」は場所の始まりを表すので、「から」が付きます。文型は「～が～に来る」です。

どれくらいできる？ (第1章)

(1)花子が去年(φ)ハワイに行った。

「去年」は重要ではない成分で、相対的な時の名詞なので「～に」が付きません。この文の文型は「～が～に/～行く」です。

(2)日本文学を勉強するために、日本(に/へ)留学した。

動詞「留学する」には必ず「～に」または「～へ」が付きます。→ 文型「～が～に/～へ留学する」

(3)父親は健康のために毎朝、公園(を)散歩している。

動詞「散歩する」には必ず「～を」が付きます。→ 文型「～が～を散歩する」
「～で」が付くことがあります。その場合、場所に焦点が当たっている状況が必要となります。(cf. 「どこで散歩するのか」の質問に答えて、「公園で散歩する」など) → 本冊p.10

(4)友達が風邪(で)学校を休んだ。

「風邪」は重要ではない成分で、原因・理由を表すので、「～で」が付きます。この文に使われている文型は「～が～を休む」です。

(5) イベントのために多くの人が公園（に）集まった。

「集まる」という動詞には必ず「～に」が付きます。→文型「～が～に集まる」。
「～で」が付くことがあります、その場合、場所に焦点が当たっている状況が必要となります。(cf. 「どこで集まったのか」の質問に答えて、「公園で集まった」など)

(6) 私がカラオケ（が）苦手であることを誰に聞きましたか。

「苦手だ」は感情・感覚の形容詞であり、述語の対象は必ず「～が」で表されます。

(7) 妹が母親（と）出かけた。

「母親」は重要ではない成分で、一緒に「相手」を表すので、「～と」が付きます。この文に使われている文型は「～が出かける」です。

(8) 会議が昨日（から/より）まだ続いている。

「昨日」は重要ではない成分で、時の始まりを表すので「～から」が付きます。「～より」も可能ですが、会話ではあまり使われません。この文に使われている文型は「～が続く」です。

(9) 地球（に）UFOが存在するのを信じるか。

動詞「存在する」の地点は「～に」で表されます。→文型「～に～が存在する」

(10) アンナが日本語能力試験のN2（に）合格した。

動詞「合格する」の対象は必ず「に」が付きます。→文型「～が～に合格する」

(11) 次郎がクラスリーダー（に）ふさわしい。

形容詞「ふさわしい」の対象は必ず「～に」が付きます。→文型「～が～にふさわしい」

(12) 鈴木さんがあなたの意見（に）反対している。

動詞「反対する」の対象は必ず「～に」が付きます。→文型「～が～に反対する」

(13) 由美（より）明美のほうが若い。

「若い（形容詞述語）」の「比較の対象」を表すので、「～より」が付きます。この文に使われている文型は「～が若い」です。

(14) 北海道から九州（まで）新幹線が運行している。

「九州」は重要ではない成分で、動きの終わる場所を表すので、「～まで」が付きます。この文の文型は「～が運行する」です。

(15) 温泉が日本（に）多いことを知っているか。

形容詞「多い」の対象は必ず「に」になります。→文型「～が～に多い」